

米子市こども計画『よなごっこ未来計画』の進捗状況について

本市では、全てのこども・若者が将来にわたって幸せな生活を送ることができる「こどもまんなか社会」の実現をめざし、令和7年3月に「米子市こども計画（よなごっこ未来計画）」を策定しました。

本計画は、従前の「米子市子ども・子育て支援事業計画」、「米子市子どもの貧困対策推進計画（ひまわりプラン）」などの関連する計画を一つに統合し、米子市におけるこども・若者に関する施策を一体的・総合的により一層推進するために策定した計画です。

計画では「こどもを生み育てることに希望が持て、こども・若者が心豊かにのびのびと成長・自立できるまち、よなご」を基本理念に掲げ、その基本理念のもと、妊娠期から若者までの切れ目のない支援や、地域全体でこどもの育ちを支える環境づくりに取り組んでいます。

本計画については、毎年度点検及び評価を行うことにより、施策の改善につなげ、総合的な取組を柔軟に進めていくこととしています。

本資料では、令和7年度における各重点施策の進捗状況や成果、今後の課題について取りまとめている。

1 基本理念

「こどもを生み育てることに希望が持て、こども・若者が心豊かにのびのびと成長・自立できるまち、よなご」

2 基本方針

【基本方針1】切れ目なくこども・若者の成長・自立を支える

【基本方針2】子育て当事者が希望を持ってこどもを生み、育てられる環境を整備する

【基本方針3】様々な環境にあるこども・若者やその家族に対する支援の充実を図る

3 令和7年度の全体総評

計画初年度にあたる令和7年度の各種取組の進捗状況については、全体として概ね順調に推移した。各重点施策に設定した指標や各種事業について、5段階の自己評価（S、A、B、C、D）を実施し、その結果を点数化し、各項目で平均値を算出することで進捗を可視化した。

評価	定義	点数
S	計画の狙いを上回る顕著な成果が得られているもの	5
A	計画を上回る取組が進んでいるもの	4
B	計画に基づき、着実に進捗しているもの	3
C	若干の遅れが見られるため、改善や見直しが必要なもの	2
D	進捗が大きく遅れており、改善や見直しが必要なもの	1

重点施策1	こども・若者への切れ目のない支援
目 標	全てのこども・若者の幸せを支えます。
評 価 点	3. 0点（5点満点中）
主 な 取 組 内 容	・こども総合相談窓口（米子市こども家庭センター）での子育て相談の充実 ・こども達との意見交換会の実施（2回） ・『よなごっこポータル』を活用した様々な情報発信 ・こどもに関連する各種研修会の実施
今後の取組方針	・悩みを抱えたこども・若者、子育て当事者が気軽に相談できるよう、引き続き、こども総合相談窓口の周知を進めるとともに、関係機関との連携深化を図り、相談対応を充実させていく。 ・こども・若者の思いや意見を聴き、いかすため、ふるさと教育などの様々な機会を通じて、引き続き、多様な声を施策に反映させる工夫と意見表明の機会の充実を図るとともに、よなごっこポータルの普及促進に努める。 ・こどもの人権に関する市民の理解を深めるため、開催する会の内容の充実を図る。

重点施策2	妊産婦・乳幼児への切れ目のない保健施策の充実
目 標	妊産婦が必要な支援を受けられるようにし、乳幼児の健康と安全を守ります。
評 価 点	3. 1点（5点満点中）
主 な 取 組 内 容	・赤ちゃん訪問事業の実施 ・産後ケア事業における電子申請の受付開始や産後ケア事業訪問型（アウトリーチ型）実施による支援の充実 ・子育て不安の解消のためのすくすく相談会の開催や子育て支援センターでの育児相談の実施 ・子育て支援センターでの講話や離乳食講習会、のびのび親子教室の実施 ・子育てひろば支援センターの土曜開所を開始し、平日利用できない家庭も利用できる体制づくり
今後の取組方針	・引き続き、こども総合相談窓口の周知や関係機関との連携を深め、相談を充実させる。 ・利用者のニーズの高い土曜日開所の支援センターの拡大を図り、市民が利用しやすい体制の充実を図る。”

重点施策 3	保育士の確保、保育の質の向上、保育環境及び子育て支援の充実
目 標	保育士の確保、保育の質の向上、保育環境及び子育て支援の充実に努めます。
評 価 点	3. 0 点（5 点満点中）
主 な 取 組 内 容	・ハローワーク米子や鳥取県保育所・保育士支援センターと協力し、就職活動及び魅力発信に係るイベントの開催 ・広報を用いた魅力発信及び保育士の就労環境改善のため、国・県と連携し、処遇改善、ICT 化、配置基準への補助等の実施 ・障がい加配保育士等対象の米子市主催の研修として「LD 等専門員」による研修と「児童発達支援センター」の発達支援保育サポーターによる研修を実施 ・医療的ケア児や障害児が希望する園に入園できるよう調整の実施 ・保育サービスに係るDX 化の推進 ・公立保育所の統合・建て替えの推進
今後の取組方針	・引き続きイベントの開催や魅力発信に努めることで、保育現場で働く人材確保に努めていくとともに、国や県と連携した補助事業により、保育現場の負担を軽減し、保育士等が働きやすい職場環境を整備することで、保育士不足の解消につなげていく。 ・滞在型支援「発達支援保育サポーター事業」を開始し、地域のインクルーシブ保育推進に取り組む。 ・公立保育所の統合建て替え計画を進め、保育環境及び地域子育て支援の充実を図る。

重点施策 4	幼稚園・保育所等と小学校との円滑な接続の推進
目 標	切れ目ない支援のため幼稚園・保育所等と小学校との円滑な接続を推進します。
評 価 点	3. 3 点（5 点満点中）
主 な 取 組 内 容	・モデル校区での実践をもとに「米子市版架け橋プログラムサポートブック」を作成 ・幼保小合同研修会、合同連絡会等の開催 ・1 年生アドバイザーによる保育施設・小学校への訪問 ・オープンスクールの開催
今後の取組方針	・1 年生アドバイザー事業の実施により、園と小学校の連携がさらに進み、主体的に取り組む園、学校が増えてきており、今後も取組を推進していく。 ・研修会を開催しサポートブックの周知、活用を促していくとともに、保育参観、授業補助体験や園と小学校教職員との対話を推進していく。校区によって取組状況に差があるので、各校区の現状を把握し、現状に応じた取組を推進していく。 ・引き続きオープンスクールの参加率向上に取り組んでいく。

重点施策 5	こどもの居場所の拡充
目 標	こどもの居場所の拡充に努めます。
評 価 点	3. 0 点（5 点満点中）
主 な 取 組 内 容	・公民館等を活用した子どもの居場所づくり事業の実施 ・放課後子ども教室の実施 ・全天候型の居場所づくりとして「まんが図書館活用事業」の実施 ・なかよし学級の待機児童の減少及び運営の健全化を図るため、啓成なかよし学級の複数単位化と五千石なかよし学級の公設民営化の検討 ・米子市児童文化センターの利用促進

今後の取組方針	・民間団体との連携強化や既存施設の有効活用、地域人材の育成をさらに重視し、体験機会の創出、多世代交流や学びの共有を促進する居場所づくりを構築・展開していく。 ・放課後児童クラブについては、特に1，2年生の待機児童が発生する校区については、なかよし学級の受入れ人数を拡充できるよう検討を進めるとともに、放課後子ども教室など多様な居場所の確保に努めていく。 ・児童文化センターについては、施設や事業の周知のため広報等にさらに力を入れることで、利用促進を図るとともに、今後のリニューアルに向けて基本計画を策定していく。
---------	--

重点施策 6	地域全体でこどもの育ちを支える取組の推進
目 標	体験・交流活動の充実と、こどもの安全な環境の確保を図ることで、地域全体でこどもの育ちを支えます。
評 価 点	3. 3点（5点満点中）
主 な 取 組 内 容	・米子市子ども会連合会及び米子市子ども会ジュニアリーダーズクラブの事務局を担い、事業実施の支援 ・米子市少年育成センターの活動として、街頭及び巡回指導、青色防犯パトロールでの巡回の実施。 ・少年指導委員代表者会の開催による、地区少年指導委員、学校、教育委員会、米子警察署等との連携体制の強化 ・少年育成米子市民会議の活動推進
今後の取組方針	

重点施策 7	若者への就職・結婚支援
目 標	就職支援や結婚支援をより一層推進し、若者の社会的な自立を支援します。
評 価 点	3. 0点（5点満点中）
主 な 取 組 内 容	・関係機関と連携し、市外在住の学生や社会人を対象に、LINE を活用した就職関連情報等の発信 ・学生や若者向けの就職イベントの開催・参加 ・中学生対象企業見学バスツアーの実施 ・米子高専生のための進路研究セミナーの実施 ・婚活イベントなどによる出会いの場づくりの実施 ・えんトリー（とっとり出会いサポートセンター）はじめ各団体と連携を図り、イベント等の情報発信（HP・SNS 掲載、チラシの配架等）
今後の取組方針	・引き続き、LINE の登録者数を増加させるとともに、就職関連情報等の発信を行う。 ・引き続き関係機関と連携し、情報共有を行う。 ・市内企業や関係機関と連携し、企業見学バスツアーや職業体験イベントを実施することで、将来的な地元就職の促進を図る。” ・広域で実施する事業には一定の手応えを感じつつも、若い世代のリアルでのつながりづくりを一層促進する必要がある。 ・広域連携において実施する各事業を引き続き推進するとともに、R8 年度新規事業として米子でのつながりづくり促進事業に取り組み、一層のリアルでの出会いの場づくりを図る。 ・引き続き、関係市町村や事業者と連携を深め、地域での出会いへの機運醸成に取り組む。

重 点 施 策 8	ニーズに応じた幼児期の教育・保育の供給量の適正確保及び子育て支援サービスの充実
目 標	地域の子育てニーズに応じ、幼児期の教育・保育の供給量を適正に確保し、子育て支援事業の充実を図ります。
評 価 点	3. 0 点（5 点満点中）
主 な 取 組 内 容	・定員の過剰供給とならないよう、公立保育施設の受入人数の調整の実施 ・地域子ども・子育て支援事業の受け皿確保
今後の取組方針	・引き続き保育需要の推移を注視し、公立保育所の統廃合による供給量の調整を行うとともに、ニーズの高い特別保育事業については受け皿を確保するなど、ニーズに応じた適正な保育の供給量の確保及び子育て支援の充実に努めていく。

重 点 施 策 9	個々の特性や取り巻く環境に応じた支援の充実
目 標	全てのこどもたちが健やかに育つための環境を整えます。
評 価 点	3. 2 点（5 点満点中）
主 な 取 組 内 容	・5歳児よなごっこ健診や医療機関との連携によるこどもの特性の早期把握の取組 ・児童発達支援センターあかしやを中心とした障がいのあるこどもへの支援の展開 ・こども☆みらい塾の運営 ・こども食堂等への支援の実施 ・24 時間対応のオンラインチャット相談窓口の設置
今後の取組方針	・5歳児健診の二段階方式における国マニュアルが改定され、米子市も対応していく。二段階方式における、こどもの特性把握の方法を医療機関等と連携しながら、先進的に進めていくことを検討する。 ・こども☆みらい塾については、子ども、保護者ともに満足度が9割を超えており、今後も、引き続き支援が必要な子どもの利用につなげられるよう、関係部署及び機関と連携していくとともに、支援体制の見直しを図っていく。 ・こども食堂等については、広報活動及び食材確保の支援等を行う。 ・引き続き、声を上げにくいこども・若者の気持ちを受け止める仕組みづくりに努めていく。

4 今年度の主な取組と今後の課題

(1) 主な取組に係る総括

従来から行っていた取組については、継続して取り組んでいるところであり、全体的に計画どおり進捗しています。地域子ども・子育て支援事業については、ニーズの高い、産後ケア事業の受け入れ拡充、・引き続き保育需要の推移を注視し、公立保育所の統廃合による供給量の調整を行うとともに、ニーズの高い特別保育事業については受け皿を確保するなど、ニーズに応じた適正な保育の供給量の確保及び子育て支援の充実に努めていきます。

またよなごっこ未来計画になり、以前より『こども・若者の意見』が重要視されることとなり、高校生などとの意見交換会等を実施し、こども・若者の意見を聞くことに努めました。

(2) 今後の課題と対応が必要な取組

出生数が減少しており、幼児期の教育・保育の供給量については、人口動態を注視しつつ、適正な量の確保に努めていく必要があります。一方で、個々の特性や取り巻く環境に応じた支援や、切れ目のない支援の充実はより重要性を増していることから、関係部署及び関係機関と連携した支援に努めていきます。

また、本計画では、これまでよりも『こども・若者の意見』を重視していることから、高校性などとの意見交換会等を実施するなど、こども・若者の意見を聞くための取組を進めていきます。